

Lesson 2 カレーは世界を旅する

(Part 1)

みなさんの多くは、カレーはインドで生まれたと知っています。しかし、インド人は「カレー」という言葉を使わないと知っていましたか？イギリス人がその言葉を使い始めました。

カレーの調理法はインドからイギリスに伝えられました。1772年、ウォーレン・ヘイスティングズが、インドから多くのスパイスとともに米を持ち帰りました。それ以降、イギリス人は米とともにカレーを食べ始めました。

19世紀の初めには、イギリスで最初のカレー粉が登場しました。それまでは、カレーを作るために多くのスパイスを混ぜ合わせることは大変な作業でした。人々はカレー粉のおかげで、カレーを簡単に作ることができるようになりました。その結果、カレーはイギリス中に広まりました。

(Part 2)

明治時代初期、イギリスから日本にカレー粉が輸入されました。当時、カレーはとても高価だったので、裕福な人々しか食べられませんでした。驚くことに、長ネギそしてカエルの肉がカレーに使われていたのです！

明治時代後期からずっとカレーは日本のいたる所で支持されてきました。日本の軍隊で、兵士たちがカレーを作り始めました。彼らは一度に大量のカレーを作ることができました、そして、それを数日間、保存することができました。彼らはカレーの調理法を持って故郷に戻りました。そうして、日本の多くの地域で人々はカレーを食べ始めました。

(Part 3)

日本中にカレーが広がると、日本人はカレーを基にした多くの新しい食品を発明しました。カレーを麺類やパンと混ぜ合わせて、カレーうどんとカレーパンを作りました。もしかすると、みなさんはいくつかの種類のカレー風味のスナック菓子を食べたことがあるでしょう。

カレールーと「レトルトカレー」は特に成功を収めました。それらは海外に輸出され、そしてオーストラリア、中国、韓国やアメリカ合衆国のようないくつかの国々で今や人気を博しています。「レトルトカレー」は今では国際宇宙ステーション（ISS）で

も食べられているくらいです！

カレーはインドで生まれました。のちに、イギリス、そして日本に持ち込まれました。今ではそれは世界中で食べられています。